

ロボット支援下胸腔鏡下食道切除術に関する研究

1. 研究の対象

2022年1月から2025年9月までに食道癌に対してロボット支援下胸腔鏡下食道切除術を受けられた方。

2. 研究目的・方法

食道癌に対する食道切除術は、癌を取り除く有効な治療手段ですが、合併症として反回神経麻痺、肺炎、縫合不全などがあります。ロボット支援下胸腔鏡下食道切除術は、これまでの胸腔鏡下食道切除術に比べて、3次元高画質画像や、器具の先端の向きが変えられるなどの特性を活かして、反回神経への負担を減らすことで神経麻痺が減少することが期待されています。当院でも2022年1月からロボット支援下胸腔鏡下食道切除術を開始しましたが、これまで行った患者さんに生じた、反回神経麻痺を含む合併症の発生状況を調査することにしました。

研究実施期間は、倫理委員会承認日から2028年12月31までになります

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、抗がん剤治療の治療歴、手術時間と出血量、術後合併症の発生状況、カルテ番号等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。
研究参加を拒否された場合は研究対象とはいたしません。また拒否された場合でも特別な不利益はありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

783-8505

高知県南国市岡豊町小蓮

高知大学医学部消化器外科学

北川博之

電話番号：088-880-2370

研究責任者：北川博之

-----以上